

# 信用保証トピックス① (平成22年8月)

## 景気対応緊急保証の保証承諾状況

～保証承諾の累計が 40,000 件、8,000 億円を突破～

景気対応緊急保証（セーフティネット5号、以下「緊急保証」という。）の保証承諾の累計が、平成22年7月末で40,390件、8,115億円となりました（取扱い開始21か月目<sup>※注</sup>）。

平成20年10月31日の制度創設当初から積極的に取り組んだ結果、保証承諾件数の累計は、平成21年6月（同8か月目）に20,000件、本年7月（同21か月目）に40,000件を突破しました。

また、保証承諾金額の累計は、平成21年6月（同8か月目）に4,000億円、同じく本年7月（同21か月目）に8,000億円を突破しました。

この間の保証承諾に占める緊急保証の構成比は、認定要件や指定業種の拡充等が実施されたこと等により、件数で54.6%、金額で60.1%となりました。

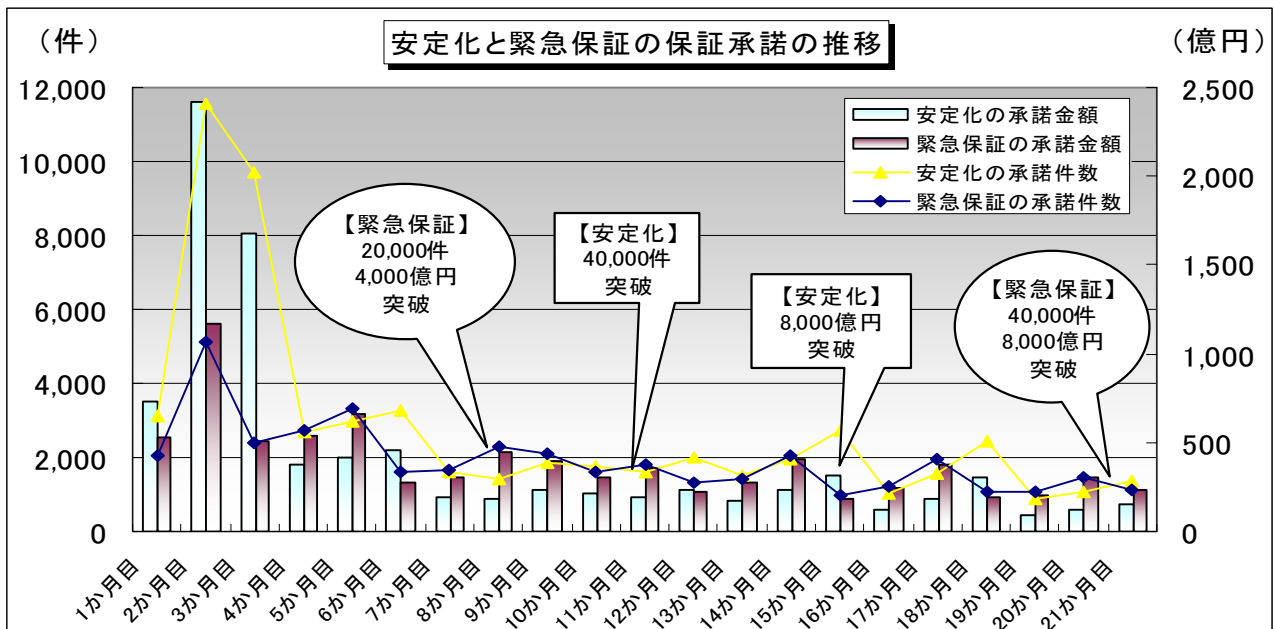
なお、単月の保証承諾のピークは取扱い開始2か月目の平成20年12月で、5,121件、1,168億円の保証承諾となっています。

※注 平成20年11月を取扱い開始1か月目として起算。

### 【中小企業金融安定化特別保証制度（以下「安定化」という。）との比較】

平成10年10月1日に取扱いを開始した安定化の保証承諾件数の累計は、取扱い開始11か月目に40,000件を突破しています。取扱い開始後3か月間の保証承諾件数で見ると、安定化は24,388件と緊急保証の9,574件に比べて多くなっています。その後、4か月目から11か月目までの保証承諾件数は、安定化17,203件、緊急保証17,151件とほぼ同数となっています。したがって、安定化の方が早く40,000件を突破したのは、取扱い開始後3か月間の保証承諾件数の差によるものです。

一方、安定化の保証承諾金額の累計は、取扱い開始15か月目に8,000億円を突破しています。取扱い開始後3か月間の保証承諾金額で見ると、安定化は4,818億円と緊急保証2,202億円に比べて多くなっています。その後、4か月目から15か月目までの保証承諾金額は、安定化3,213億円、緊急保証4,361億円となっており、緊急保証が安定化を上回っています。この理由としては、長引く景気の低迷が影響し、中小企業の資金繰り困難な状態が続いていることが考えられます。

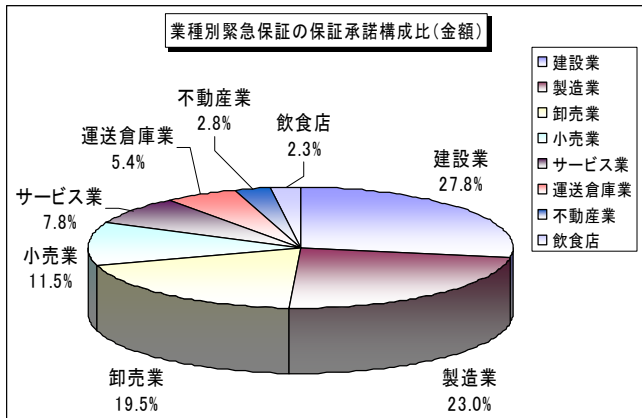


## 緊急保証の保証承諾状況

業種別保証承諾状況(H20.11～H22.7)

(単位:件、百万円)

業種	保証承諾								全保証承諾に占める 緊急保証の構成比	
	うち緊急保証									
	件数	構成比	金額	構成比	件数	構成比	金額	構成比	件数	金額
建設業	19,616	26.5%	342,701	25.4%	11,564	28.6%	225,236	27.8%	59.0%	65.7%
製造業	14,391	19.5%	296,759	22.0%	8,606	21.3%	186,104	22.9%	59.8%	62.7%
小売業	10,579	14.3%	155,060	11.5%	5,866	14.5%	93,263	11.5%	55.4%	60.1%
卸売業	10,557	14.3%	256,338	19.0%	5,983	14.8%	158,218	19.5%	56.7%	61.7%
サービス業	9,427	12.8%	143,268	10.6%	3,642	9.0%	62,983	7.8%	38.6%	44.0%
飲食店	3,662	5.0%	31,987	2.4%	1,841	4.6%	18,322	2.3%	50.3%	57.3%
不動産業	2,784	3.8%	52,595	3.9%	1,188	2.9%	22,714	2.8%	42.7%	43.2%
運送倉庫業	2,694	3.6%	68,343	5.1%	1,665	4.1%	43,857	5.4%	61.8%	64.2%
その他の産業	168	0.2%	1,538	0.1%	16	0.0%	243	0.0%	9.5%	15.8%
農林漁業	26	0.0%	598	0.0%	6	0.0%	188	0.0%	23.1%	31.4%
鉱業	22	0.0%	523	0.0%	13	0.0%	387	0.0%	59.1%	74.0%
合計	73,926	100.0%	1,349,708	100.0%	40,390	100.0%	811,515	100.0%	54.6%	60.1%

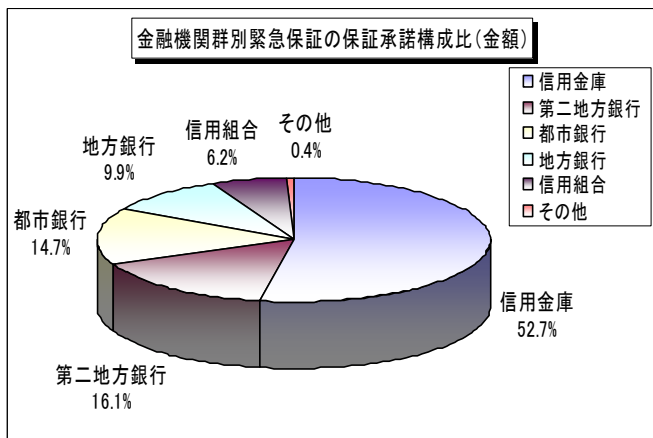


緊急保証の業種別保証承諾の構成比は、建設業と製造業の合計が件数、金額ともに約半数を占めています。  
また、建設業、製造業および運送倉庫業は、全保証承諾に占める緊急保証の構成比が他業種より高くなっています。

金融機関群別保証承諾状況(H20.11～H22.7)

(単位:件、百万円)

金融機関群	保証承諾								全保証承諾に占める 緊急保証の構成比	
	うち緊急保証									
	件数	構成比	金額	構成比	件数	構成比	金額	構成比	件数	金額
都市銀行	6,028	8.2%	183,935	13.6%	3,872	9.6%	119,410	14.7%	64.2%	64.9%
地方銀行	6,267	8.5%	132,634	9.8%	3,713	9.2%	80,679	9.9%	59.2%	60.8%
第二地方銀行	9,836	13.3%	236,819	17.6%	5,262	13.0%	130,494	16.1%	53.5%	55.1%
信用金庫	45,528	61.6%	705,416	52.3%	24,359	60.3%	427,340	52.7%	53.5%	60.6%
信用組合	6,095	8.2%	86,266	6.4%	3,084	7.6%	50,176	6.2%	50.6%	58.2%
その他	172	0.2%	4,638	0.3%	100	0.2%	3,415	0.4%	58.1%	73.6%
合計	73,926	100.0%	1,349,708	100.0%	40,390	100.0%	811,515	100.0%	54.6%	60.1%



緊急保証の金融機関群別保証承諾の構成比は、信用金庫が件数、金額ともに50%を超えています。  
また、都市銀行が他の金融機関群に比べて、全保証承諾に占める緊急保証の構成比が高くなっています。  
各金融機関ともに緊急保証に積極的に取り組んでいます。